

フォセコの新製品ホロテックス*シュラウド



プレス・リリース
タムワース、2019年7月

鋳造品の品質向上と納期短縮の要求を満たすための業界標準。

通常鋳造工場では、鋳造プロセス中に底注ぎ取鍋から出る溶湯流を保護することに十分な注意を払うことはありません。酸化被膜は金属流の表面に容易に形成され、次いで溶湯の乱流によりこれらの膜は溶湯中に取り込まれ、そして新たな酸化物層が形成されます。これらの被膜はしばしばバイフィルムとして存在し、そして鋳物に多くの欠陥を引き起こし、物理的性質を劣化させます。長年にわたり、連続鋳造では鋳造中に溶湯流を保護する方法を使用してきました。鋳物工場では現在シュラウドの概念を使用して鋳造品質を向上させることができます。

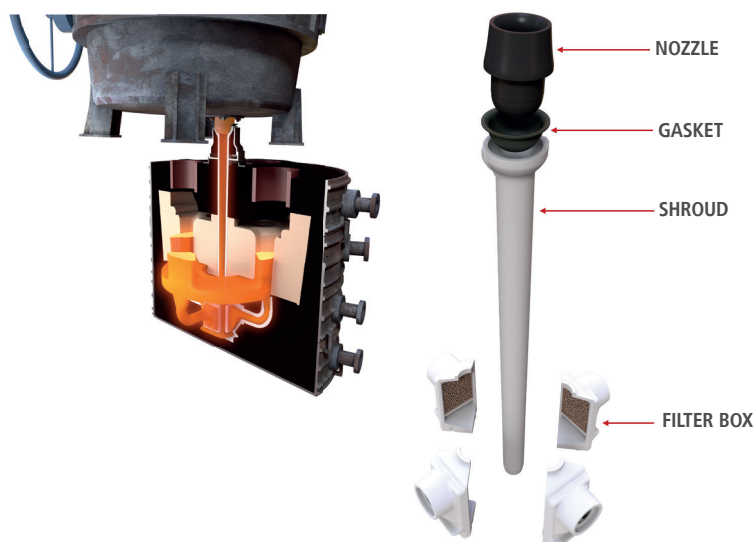
鋳物の品質を向上させるためのシュラウドによる溶湯流の保護

ホロテックス・シュラウドは、鋳造プロセス中に溶鋼を空気の巻き込みと酸化皮膜形成から保護するために開発されました。新しいシュラウドプロセスは、最新のH&S規格を満たす鋳造工場に適用可能であり、ロボットマニピュレータを使用して操作される製鉄所用途における取鍋シュラウドとは一線を画しています。鋳造工場は、注湯取鍋から数寸の型に鋳造できることを必要とします。彼らはまた、安全で迅速かつ柔軟なシュラウドシステムの操作を求めています。鋳造用途に安全かつ実用的であるためにシュラウドを取鍋に固定することは検討されていません。ホロテックス・シュラウドはこれらの要件を満たし、鋳型内に配置され、シンプルで効率的で信頼性の高いリフティングシステムを使用して取鍋のノズルに向かって持ち上げられます。

このリフティングシステムは自動ロック式なので、ねじれてシールされると、注湯作業者はキャスティングプロセス内でそれを物理的に保持することなく注湯することができます。VAPEXノズルは自動的にセンターを出すことができますので、取鍋位置がHOLLOTEXシュラウド上で完全に位置決めされていなくてもシールすることができます。シュラウドは、空気の混入や溶湯の酸化なしに、熔融金属をフィルターボックスに送り込みます。フィルターボックスは、注湯開始時の金属の飛散を防ぐように設計されており、その後、スティレックス ZR ULTRAフィルターを介して熔融金属をゲーティングシステムの陶管に分配します。シュラウドは確実に溶湯で満たされるためテーパ形状であり、湯口系を加圧状態に保ちます。

主な利点

- ・ 空気の巻き込みなし
- ・ X線およびMPI仕様の欠陥を減少
- ・ 補修率の低減
- ・ プロセスの再現性(一貫した鋳造品質)
- ・ 鋳物の迅速な納期
- ・ 注湯温度の低下
- ・ 機械的特性の向上
- ・ 鋳込み中に起こる熔融金属との曝露を減らすことによる健康と安全性
- ・ 環境改善



Contact:

Nick Child
International Marketing Manager - Clean Iron and Steel
nick.child@vesuvius.com

Stephan Giebing
European Product Manager – Ferrous Filtration
stephan.giebing@vesuvius.com

David Hrabina,
European Applications Manager
david.hrabina@vesuvius.com